



## 奈良時代の住居址を発見

### 東平遺跡の発掘調査

昨年5月から始まった「東平遺跡」の発掘調査は、現在、東名富士インター出口、大月線南側で行われています。伝法地内にあるこの東平遺跡は、昭和41年の東名インター建設時に一度調査され今回で2度目です。

調査は、昭和55年8月まで同地域を含め6ヵ所、約4万6千平方メートルを実施するもので、すでに2ヵ所が調

【写真・東平遺跡の発掘現場と右下写真は当時のカマド】  
査され、いまA地点といわれている大月線南側約1,200平方メートルを発掘調査中です。

特にこの地点は、東平遺跡解明のカギを握るといわれ、今からおよそ1,200年くらい前の奈良時代の住居址20軒と高床式倉庫と思われる址10数ヵ所が発見されています。また、この住居址からは珍しいカマドが当時のままで出土され、今後は更に南に向って発掘調査がすすめられるので、貴重な出土品が発見されるものと注目を集めています。